

## 第2回

# 東新町・小茂根地域交通意見交換会

## 資料

日時：令和6年9月30日(月) 19:00~20:30

会場：桜川地域センター 2階 レクリエーションホール

次回は、12月16日(月)19:00~を予定しています。

(会場:桜川地域センター 2階 レクリエーションホール)

板橋区 都市整備部 都市計画課

## 本日の次第

(1) 第1回意見交換会の振り返り

(2) 新たな交通手段のイメージ・課題

- ①現状の課題と制約
- ②具体的な移動手段の選択肢

(3) 地域住民アンケートについて

- ①アンケートの概要
- ②アンケートの設問および把握する内容
- ③アンケート結果(速報)

(4) フリーディスカッション(意見交換)

(1) 第1回意見交換会の振り返り

○開催概要

日時：令和6年6月28日(金) 19:00~20:30

令和6年6月30日(日) 14:00~15:30

会場：桜川地域センター 2階 レクリエーションホール

○議題

- (1) 交通に関する現状・動向
- (2) 地域の交通
- (3) 意見交換会について
- (4) 地域の現状把握と事例
- (5) フリーディスカッション

○意見交換会で出た主な意見(抜粋)

- ・高齢者は歩くのに時間がかかり、今後の移動に不安がある。
- ・交通対策はだれをターゲットにしているのか？
- ・池55(小茂根五丁目~池袋駅)は平日日中の便が無くなり移動が大変。
- ・上板橋駅の駅前広場計画に合わせて新しい乗り物は導入できないか？
- ・既存の送迎バスなどの活用はできないか？
- ・どんな乗り物や交通手段なら導入できるのか？ 他

令和6年6月28日(金)



令和6年6月30日(日)



第2回意見交換会では、前回頂いたご意見をもとに、  
東新町・小茂根地域ではどのような取組みが考えられるのかについて意見交換を行います。

【参考】第1回意見交換会で出たご意見シートのコメント(抜粋)

項目	意見(抜粋)
会議について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板橋区全体の意見を取り入れてほしい</li> <li>・検討会は感謝するがアリバイ作りにならないように</li> <li>・意見交換会を定期的を開催してほしい</li> </ul>
検討方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者・子供連れ・社会的弱者の立場を考えてほしい</li> <li>・これから将来どうなっていくのかが関心事</li> <li>・住み慣れた地域でいつまでも住み続けられる交通を考えてほしい</li> <li>・通勤・通学・子育て世代等幅広い世代が利用できる交通システム</li> </ul>
既存交通について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・池55バスの減便で利用が不便(3名)</li> <li>・土日以外バスがない、平日日中のバスがない(2名)</li> <li>・R5以前の状態になればいい</li> </ul>
移動手段について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上板橋、ときわ台、小竹向原を循環するバスはできないか(2名)</li> <li>・三田線に行く交通手段がない</li> <li>・コミュニティバスは無理なのか</li> <li>・コミュニティバスができなくても新しい交通手段を考えてほしい</li> </ul>
駅について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小竹向原駅の1,2番出口のエレベーターがない(2名)</li> <li>・上板橋駅の開発に期待する(駅前ロータリー・バス停。タクシー乗場など)</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシー券を配布してもらいたいという話もある</li> <li>・坂が地図で評価されていない</li> <li>・板橋区への交通手段</li> <li>①環七バス⇒板橋本町で乗換 ②有楽町線で要町で下車バス乗換</li> </ul>

(2) 新たな交通手段のイメージ・課題

② 具体的な移動手段の選択肢

東新町・小茂根地域で考えられる移動手段としては、主に以下のような手段が考えられます。

種類	A.乗合交通 (ワゴン車を活用)	B.タクシーの相乗り (通常のタクシーを活用)	C.助け合い交通 (自家用車を活用)
イメージ			
仕組み	1台の車に、ほかの人と乗り合わせる仕組み	通常のタクシーを、グループで利用する仕組み	地域団体等が自家用車を使用して運行する車に乗り合わせる仕組み
例	・決めた時間・ルートで走るもの、予約がある時だけ走るものがある	・相乗り(友人や近所の人など、一緒に乗った人で運賃を折半する)	・ボランティア輸送 ・施設送迎バスの活用
利用料金 運行頻度	400円程度 1時間に1~2往復程度	タクシー料金 (2km1000円程度) ※相乗りになると割勘	燃料費等の実費程度 1時間に1往復程度

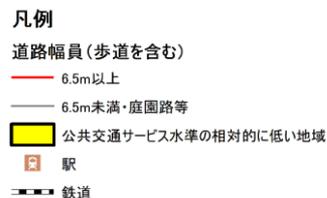
(2) 新たな交通手段のイメージ・課題

前回の意見交換会でご意見のありました「ときわ台駅」や「小竹向原駅」への移動手段について、東新町・小茂根地域からの距離はいずれも約2.5km程の道のりです。

例えば、この間の移動手段には、各移動手段の運行経費（支出）に見合った利用者（収入）が必要です。

○運行経費（支出）<運賃（収入）であれば持続可能

それぞれの移動手段に必要な運行経費は下表のとおりです。



種類	A.乗合交通 (ワゴン車を活用)	B.タクシーの相乗り (通常のタクシーを活用)	C.助け合い交通 (自家用車を活用)	【参考】バス
イメージ				
運行経費 (めやす)	550円/km	約5,500円/h ※タクシーを時間貸切した 場合を想定	燃料代等実費程度	800円/km

(2) 新たな交通手段のイメージ・課題

※注意※ 仮定の計算になります。

○運行経費をカバーする運賃収入に必要な利用者数(日あたり)

**A.乗合交通を導入すると仮定した場合** ⇒ 運賃を500円とすると **1日に約40人程**の利用が必要

**B.タクシーの相乗りを導入した場合** ⇒ 運賃を500円とすると **1日に約70人程**の利用が必要

**C.助け合い交通を導入した場合** ⇒ 運賃は実費程度。1日に必要な利用者数に目安はない  
※ただし、地域の皆様で相互に協力できる範囲で

**参考:バスを導入した場合** ⇒ 運賃を230円とすると1日に**約100人**の利用が必要

	A.乗合交通	B.タクシー相乗り	C.助け合い交通	【参考】バス
				
①運行距離	2.5km	2.5km	約2.5km	約2.5km
②運行本数(6時間想定)	6往復(1往復/1時間)			6往復(1往復/1時間)
③1kmあたり運行経費	550円/km			800円/km
④1日あたり運行経費	16,500円 (①×②×③)	約33,000円 (6時間貸切り)		24,000円 (①×②×③)
⑤運賃 ※仮設定	500円	500円	実費程度	230円
⑥必要利用者数 (④÷⑤)	<b>約40人/日</b>	<b>約70人/日</b>		<b>約100人/日</b>
⑦1往復当たり乗車人数 (⑥÷②)	約6人/往復			約18人/往復

(3) 地域住民アンケートについて

① アンケートの概要

現在、東新町・小茂根地域にお住まいの方を対象に、地域の移動に関するご意見をお聞きするためのアンケートを配布しています。この調査結果から、地域の移動に関する課題を把握し、今後の交通対策における取組の検討を行っていきます。

■ 主な質問内容(趣旨) ※詳細は次の頁

- ・現在の移動でお困りのこと
- ・外出が便利になるために必要と思うこと
- ・新たな交通手段の取組について 等

■ 回答期日

令和6年9月16日(月)

1 7 3 8 7 9 0

板橋区 (受取人)  
板橋区板橋二丁目66番1号

板橋区 都市整備部  
都市計画課 交通企画都市基盤係 行

返信用封筒

※ご協力ありがとうございます。

切手を貼らずにご返送ください。

〒173-8790

ITABASHI

東新町・小茂根地区 おでかけに関するアンケート

※世帯や個人の特定を避けるため、ご住所のうち【●●丁目●番】までの範囲でお答えください。

1～30番  
31～60番

※どちらか1つに○

＜物に指定がなければ、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください＞

年齢	1. 39歳以下 4. 70～74歳	2. 40～64歳 5. 75～79歳	3. 65～69歳 6. 80歳以上
職業	1. 会社員・公務員・団体職員 3. パート・アルバイト 5. 学生 7. その他( )	2. 自営業 4. 主婦(夫)・専業主婦 6. 無職	
通勤・通学	1. している(週__日)	2. していない	
普段利用している移動の手段 <あてはまるものすべてに○>	1. 徒歩 4. 自転車 7. 電車	2. 自転車 5. タクシー 8. その他( )	3. バイク 6. 路線バス
外出の頻度	1. ほぼ毎日 3. 週に2～3日	2. 週に4～5日 4. 週に1日以下	
最もよく使う駅	1. 上板橋 5. 新板橋	2. ときわ台 6. 板橋本町	3. 小竹向原 7. いずれの駅も使わない
最もよく使う駅から乗車し、最もよく訪れる駅・施設(目的地)	駅名 _____ 駅 施設名 _____		
最もよく使う路線バス (東新町・小茂根地区)	1. 池55 (池袋駅～小茂根五丁目) 2. 池31 (池袋駅～高井戸駅) 4. 光02 (池袋駅～光が丘駅)	3. 王78 (王子駅～新板橋) 5. 使わない	
1日の歩行数	歩 _____ 歩 ・ 不明		
休まずに自分ひとりで歩ける距離	1. 1km以上 4. 300m程度まで 6. 外出には誰かの介助が必要	2. 1km程度まで 5. 100m程度まで	3. 500m程度まで
普段の生活について	1. 歩行中につまづくことがある 2. 階段を上る時に手すりが必要 3. 2kg(牛乳パック2個)程度の重い荷物を持って持ち帰るのが困難 4. 上履のいずれも該当しない		

(3) 地域住民アンケートについて

② アンケートの設問および把握する内容

このアンケートは大きく4つの項目で構成しており、各設問により以下の事を把握します。

特に、年齢や普段の移動で困っていることを正確に捉えたいので、「誰が・どんな移動に困っているか、どんな移動手段が求められているのか」を把握し、地域に適切な取組を検討します。

1 頁目

**東新町・小茂根地区 おでかけに関するアンケート**

Q1 ご住所（一部）をお教えください。  
※世帯や個人の特定を避けるため、ご住所のうち●●●丁目●番までとの範囲でお答えください。

（町） \_\_\_\_\_ 丁目 1〜30番  
31〜60番

Q2 あなたの生活についてお聞かせください。  
<それぞれあてはまるもの1つに○を付けてください>

年齢	1. 39歳以下 4. 70〜74歳	2. 40〜64歳 5. 75〜79歳	3. 65〜69歳 6. 80歳以上
職業	1. 会社員・公務員・自営業員 3. パート・アルバイト 5. 学生 7. その他（ ）	2. 自営業 4. 主婦（夫）・家事手伝い 6. 無職	
通勤・通学	1. している（通勤、通学）	2. していない	
普段利用している移動手段 <あてはまるものすべてに○>	1. 徒歩 4. 自転車 7. 電車	2. 自転車 5. タクシー 8. その他（ ）	3. バイク 6. 路線バス
外出の頻度	1. ほぼ毎日 3. 週に2〜3回	2. 週に4〜5回 4. 週に1〜2回	
最もよく使う駅	1. 上野橋 5. 新橋台 6. 稲橋本町	2. 志保台 6. 稲橋本町	3. 小竹園 4. 東川台 7. いずみの駅も使わない
最もよく使う駅 駅名も記入される欄・駅（目的地） 駅名			
最もよく使う路線バス (東新町・小茂根地区)	1. 55 (池袋駅〜小茂根五丁目) 2. 31 (池袋駅〜高井戸駅)	3. 78 (王子駅〜新船場) 4. 02 (池袋駅〜光が丘駅)	5. 使わない
1日の歩行数	歩 歩 歩 歩 歩	歩 歩 歩 歩 歩	歩 歩 歩 歩 歩
休まずに歩いた分での歩行距離	1. 1km以上 4. 300m程度まで	2. 1km程度まで 5. 100m程度まで	3. 500m程度まで
通勤の生活について <あてはまるものすべてに○>	1. 歩行に支障なくある	2. 階段を上る手がすりが必要	3. 2kg (牛乳パック2個) 程度の買い物をして持ち帰るのが困難
その他、困っていること <自由記述>	1. _____ 2. _____ 3. _____		

- ・お住いの地域
- ・基本属性 (年齢、職業、外出頻度、最もよく使う駅や路線バスなど)
- ・普段の移動について

2 頁目

Q3 自宅周辺（自宅から1km程度の範囲）での外出移動についてお聞かせください。

(1) 普段最もよく行く場所への移動についてお答えください。  
なお、自宅周辺とは上野橋駅・志保台駅から東川台駅・小竹園駅からまでの範囲として、回答してください。くれぐれあてはまるもの1つに○を付けてください。

移動手段	徒歩	自転車	バイク	タクシー	路線バス	その他
目的地	1. 徒歩 4. 自転車 7. 電車	2. 自転車 5. タクシー 8. その他（ ）	3. バイク 6. 路線バス			
頻度	1. ほぼ毎日 3. 週に2〜3回	2. 週に4〜5回 4. 週に1〜2回				
最もよく使う駅	1. 上野橋 5. 新橋台 6. 稲橋本町	2. 志保台 6. 稲橋本町	3. 小竹園 4. 東川台 7. いずみの駅も使わない			
最もよく使う駅 駅名も記入される欄・駅（目的地） 駅名						
最もよく使う路線バス (東新町・小茂根地区)	1. 55 (池袋駅〜小茂根五丁目) 2. 31 (池袋駅〜高井戸駅) 3. 78 (王子駅〜新船場) 4. 02 (池袋駅〜光が丘駅) 5. 使わない					

(2) (1)の目的地への移動について、困っていることがあればお答えください。  
<それぞれあてはまるもの1つに○を付けてください>

移動手段	徒歩	自転車	バイク	タクシー	路線バス	その他
目的地	1. 徒歩 4. 自転車 7. 電車	2. 自転車 5. タクシー 8. その他（ ）	3. バイク 6. 路線バス			
頻度	1. ほぼ毎日 3. 週に2〜3回	2. 週に4〜5回 4. 週に1〜2回				
最もよく使う駅	1. 上野橋 5. 新橋台 6. 稲橋本町	2. 志保台 6. 稲橋本町	3. 小竹園 4. 東川台 7. いずみの駅も使わない			
最もよく使う駅 駅名も記入される欄・駅（目的地） 駅名						
最もよく使う路線バス (東新町・小茂根地区)	1. 55 (池袋駅〜小茂根五丁目) 2. 31 (池袋駅〜高井戸駅) 3. 78 (王子駅〜新船場) 4. 02 (池袋駅〜光が丘駅) 5. 使わない					

- ・自宅周辺からの外出の移動手段
- ・自宅周辺からの移動で困っていること

3 頁目

Q4 地域内の路線バス・タクシーについてお聞かせください。

(1) 普段最もよく行く場所への移動についてお答えください。  
なお、自宅周辺とは上野橋駅・志保台駅から東川台駅・小竹園駅からまでの範囲として、回答してください。くれぐれあてはまるもの1つに○を付けてください。

移動手段	徒歩	自転車	バイク	タクシー	路線バス	その他
目的地	1. 徒歩 4. 自転車 7. 電車	2. 自転車 5. タクシー 8. その他（ ）	3. バイク 6. 路線バス			
頻度	1. ほぼ毎日 3. 週に2〜3回	2. 週に4〜5回 4. 週に1〜2回				
最もよく使う駅	1. 上野橋 5. 新橋台 6. 稲橋本町	2. 志保台 6. 稲橋本町	3. 小竹園 4. 東川台 7. いずみの駅も使わない			
最もよく使う駅 駅名も記入される欄・駅（目的地） 駅名						
最もよく使う路線バス (東新町・小茂根地区)	1. 55 (池袋駅〜小茂根五丁目) 2. 31 (池袋駅〜高井戸駅) 3. 78 (王子駅〜新船場) 4. 02 (池袋駅〜光が丘駅) 5. 使わない					

(2) 地域内の路線バスについて

1. 追加で空車のタクシーがつかまえるやすい  
2. タクシー乗り場がある（乗りやすい場所が確保されている）  
3. タクシーが予約しやすいアプリがあり、自分のスマートフォンで使える  
4. タクシーの料金負担が軽くなる  
5. その他（具体的に）

Q5 地4で選択した内容が実現した場合、路線バス、タクシーを現在よりも多く利用する、もしくは現在よりも利用していないが今後利用してみようと思いませんか。

路線バス	1. 思う 2. 思わない 3. わからない	1. 思う 2. 思わない 3. わからない	1. 思う 2. 思わない 3. わからない
タクシー	1. 思う 2. 思わない 3. わからない	1. 思う 2. 思わない 3. わからない	1. 思う 2. 思わない 3. わからない

Q6 東新町・小茂根地域の移動の「新たな交通手段」の検討についてお聞かせください。

一般的に路線バスの継続的な運行には、利用客数の確保や、乗車が運行できる道路等が必要となります。また、道路では、バスの運転手不足といった課題も大きく、新たな路線を設けることは難しい状況です。

こうした中で、地域の交通手段の確保には、地域の皆さんの理解と積極的な利用が重要となります。

特に、「新たな交通手段」を活用する場合でも、路線バスなどには、運行時間や乗降は少なく、運賃も高いといった、不便さを感じるかもしれません。ここでは、「新たな交通手段」で、ご自身の生活スタイルを合わせ、利用していることも考えなければならないと思います。

(1) 上記のように、ご自身の生活スタイルを、交通手段に合わせて外出して頂く予定です。  
<あてはまるもの1つに○、2の回答はそのまま記入してください>

1. 思い	2. 思いは	3. その理由
1. 思い	2. 思いは	3. その理由

- ・普段の外出・移動より便利になるために必要なこと
- ・既存公共交通（路線バス・タクシー）を現在よりも使うと思うか

4 頁目

(2) 東新町・小茂根地域に「新たな交通手段」で、以下のような3つのパターン（ご自身の生活スタイルを想定して）の交通手段を想定して、お答えください。

① 自分が、自宅周辺で以下の3つのような外出をする際、その移動で「新たな交通手段を利用して外出が良くなるか?」あてはまるものに○をつけてください。

※現在の生活で発生しない移動については、空欄で結構です

種類	A. 新たな交通手段	B. タクシーの増強	C. 駅に近い交通手段
イメージ			
仕組み	1. 色の違い、ほかの人と差別化を図る	2. 通常のタクシーをグループで運行する	3. 駅に近い交通手段を運行する
乗	1. 追加で空車のタクシーがつかまえるやすい	2. タクシー乗り場がある（乗りやすい場所が確保されている）	3. タクシーが予約しやすいアプリがあり、自分のスマートフォンで使える
利用料金の運行頻度	500円程度 1時間以内	1000円程度 1時間以内	1000円程度 1時間以内
運行頻度	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.
運行時間	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.
運行ルート	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.
運行エリア	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.
運行時間帯	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.
運行ルート	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.
運行エリア	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.
運行時間帯	1. 2. 3.	1. 2. 3.	1. 2. 3.

(3) 今後、地域の皆さんが中心となり、地域の交通手段について考えていく取組みが実施される可能性があります。その際、皆様はどのような方法について協力できそうですか、お答えください。<あてはまるものすべてに○>

1. 駅周辺で経路合点ごとの乗降を促す
2. アンケート調査など市民の意見を把握する機会があれば、積極的に回答する
3. 地域内の交通手段を積極的に利用する
4. 駅に近い交通のドライバーとして協力する
5. 駅に近い交通の運営（予約の受付や乗降の案内など）に協力する
6. その他（ ）

1頁目のアンケート目録以上となります。確かに18番以上の方がいらっしゃるか場合は、次ページから回答をお願いします。

- ・新しい取組の利用意向
- ・新しい取組への協力意向

(3) 地域住民アンケートについて

③ アンケート集計状況(速報)

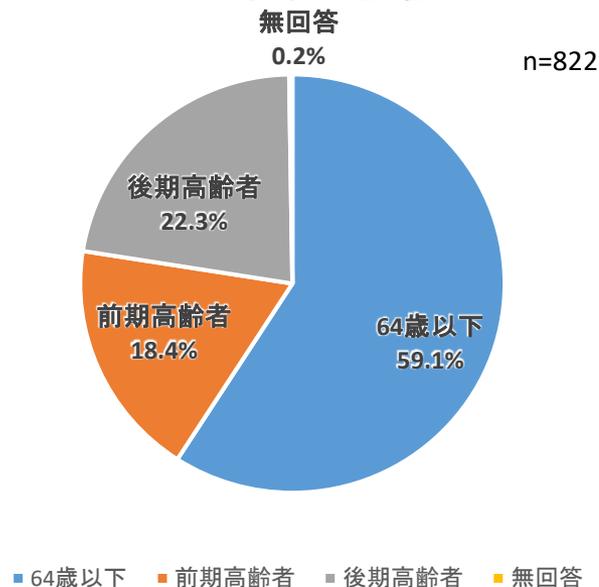
【回答者の年齢層】

○回答者の年齢層は約6割が64歳以下、約4割は65歳以上となっている。

※現在集計中のため、現時点で入力完了したn=822サンプル(502世帯)の集計結果になります。

年齢層		回答数	
64歳以下	39歳以下	174	
	40～64歳	312	
前期高齢者	65～69歳	151	75
	70～74歳		76
後期高齢者	75～79歳	186	82
	80歳以上		104
空白		2	
合計		825	

アンケート回答者年齢層の比率



(3) 地域住民アンケートについて

③ アンケート集計状況(速報)

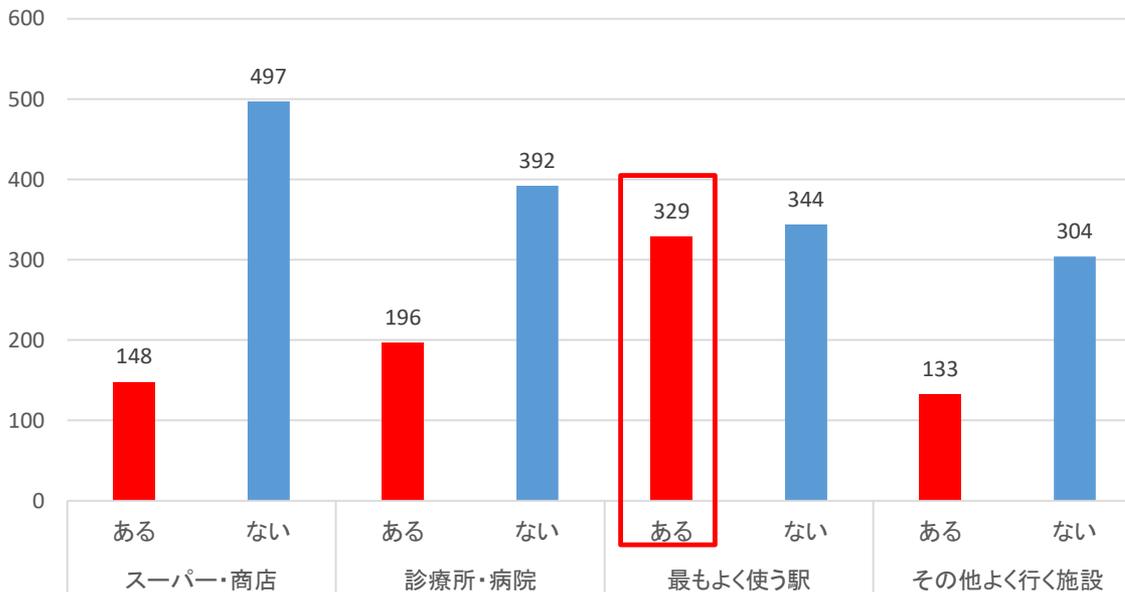
【移動の困りごと】目的地への移動について、困っていることがありますか？

○移動の困りごととしては「最もよく使う駅」までの移動に困っていることが最も多く、次いで「診療所・病院」「スーパー・商店」「その他よく行く施設」の順で多い。

困っていること	スーパー・商店			診療所・病院			最もよく使う駅			その他よく行く施設		
	ある	ない	回答なし	ある	ない	回答なし	ある	ない	回答なし	ある	ない	回答なし
困りごと	148	497	177	196	392	234	329	344	149	133	304	385

移動の困りごとの有無

n=822



(3) 地域住民アンケートについて

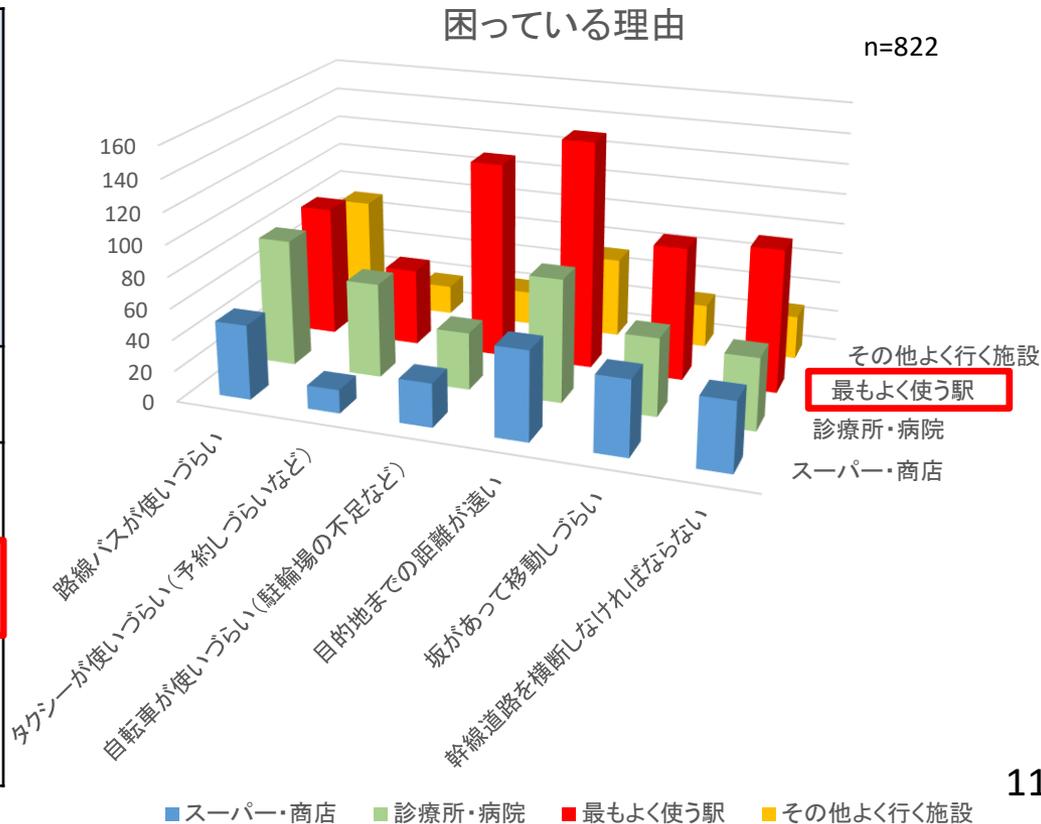
③ アンケート集計状況(速報)

【困っている理由】目的地への移動について困っている理由をお答え下さい。

○最もよく使う駅までの移動に困っている方は「目的地までの距離が遠い」「自転車が使いづらい」といった理由が多い。

○その他困っている理由として、全体的に「目的地までの距離が遠い」「路線バスが使いづらい」という回答が多い。

	路線バスが 使いづらい	タクシーが使いづらい (予約しづらいなど)	自転車が使いづらい (駐輪場の不足など)	目的地までの距離が遠い	坂があつて移動しづらい	幹線道路を横断しなければ ならない
スーパー・ 商店	48	15	28	57	48	44
診療所・病院	82	64	37	79	50	49
最もよく使う 駅	85	50	127	147	86	92
その他よく行く 施設	72	19	22	52	28	28



(3) 地域住民アンケートについて

③ アンケート集計状況 (速報)

【新たな交通手段の利用意向】新たな移動手段が導入された場合、利用するかお答えください。

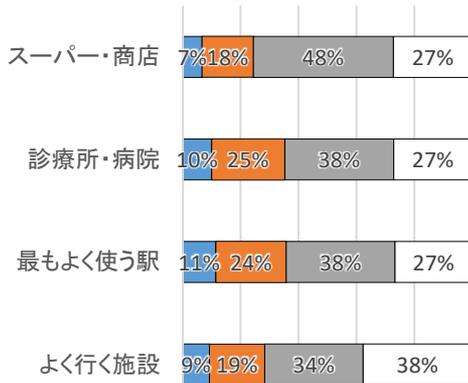
A乗合交通:積極的に利用したい方は約1割、時間帯や天候次第で利用したい方は約2割  
 Bタクシーの相乗り:積極的に利用したい方は約1割、時間帯や天候次第で利用したい方は約2割  
 C助け合い交通:積極的に利用したい方は約1割、時間定や天候次第で利用したい方は約2割

	A乗合交通				Bタクシーの相乗り				C助け合い交通			
	積極的に利用したい (日常的に利用)	時間帯や天候次第では利用したい	利用しない	空白	積極的に利用したい (日常的に利用)	時間帯や天候次第では利用したい	利用しない	空白	積極的に利用したい (日常的に利用)	時間帯や天候次第では利用したい	利用しない	空白
スーパー・商店	55	146	397	224	18	89	468	246	42	105	430	245
診療所・病院	82	208	309	223	31	139	387	264	67	140	361	254
最もよく使う駅	94	200	309	219	43	134	394	250	77	140	367	237
よく行く施設	76	157	279	310	39	109	341	333	62	100	330	330

A乗合交通の利用意向

n=822

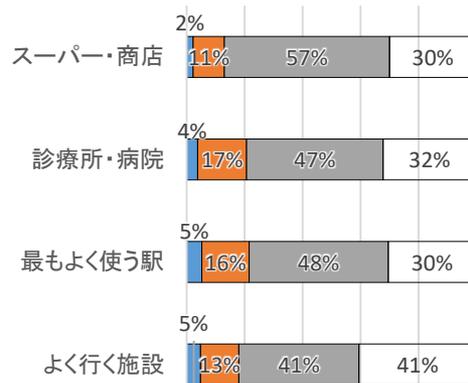
0% 20% 40% 60% 80% 100%



Bタクシー相乗りの利用意向

n=822

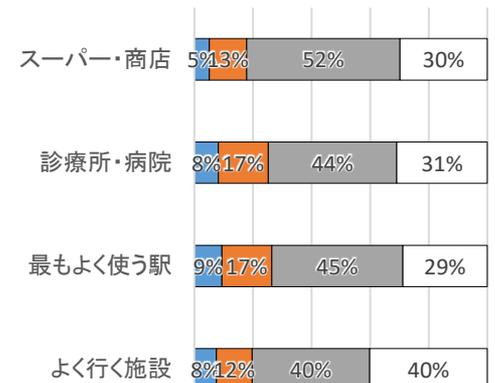
0% 20% 40% 60% 80% 100%



C助け合い交通の利用意向

n=822

0% 20% 40% 60% 80% 100%



(3) 地域住民アンケートについて

③ アンケート集計状況(速報)

【協力意向】今後、地域の皆さんが中心となり、地域の交通手段の取組をするとした場合に、どのような形で協力できそうかお答えください。

○「アンケートなどの積極的に回答する」と回答した方が最も多く、次いで「地域内の交通手段を積極的に利用する」と回答した方が多い。

○「助け合い交通に協力する」と回答した方のうち、21名がドライバーとして、48名が事務作業などに協力すると回答があった。

地域の交通手段の取組に協力できる形

n=822

